



花緑輝

令和2年度
学校報9月号②
大仙市立
太田中学校

大仙市提供エール 花火 week



大仙市提供の小・中学校へのエール花火を、太田の4つの学校では「太田花火 week」と題して、4日連続で打ち上げていただきました。

9月3日（木）の最終日は、太田中学校へのエール花火でしたが、予想を上回る人出にびっくり。栗沢河川公園で多くの方が対岸から打ち上げる花火を堪能しました。様々なご配慮をしてくださった太田支所様、現場でお手伝いをいただきPTA 校外指導部の皆様、そして投光器を提供してくださった佐々木電工様に心より感謝いたします。



花火の後、3年生の男の子が2人やって来て、「僕たちのために上げてくださってありがとうございます」と言ってくれた。他校ではなかなかない。感動しました。（和火屋さん）

* 次の日に打ち上げ会場の清掃に行く予定でしたが、荒天で中止になりました。



気付きを高め 心を形に



○率先垂範を大切にしています。清掃

時間は先生方に習い、私もクイックルワイパーを持って校内を回ります。そして「四角い部屋を丸く掃く」的な掃除をしているところに出くわしては、がえがえと掃除をして無言の圧力をかけています。

●ただ、最近のはっきり伝えないと気付かない子が多い感じがします。中にはシャイで「気持ちがあっても、どう対処すればいいのか分からない。だから動けない。」という子もいます。

○突然の大雨で排水溝からあふれた水が東側廊下のシャッターの下から流れ込んで、ごみ置き場が水浸しになったことが二度ありました。一度目の時は1年生の田口さんが水と一緒に押し寄せたビヨビヨの落ち葉を回収してくれましたし、二度目の時は同じく1年生の高橋さんが「私やります！」と言ってほうきやデッキブラシを受け取ってきれいにしてくれました。とても、とても感謝！

●「気付き」にしても「どう対処するか」にしても普段の経験が影響すると思います。それから「親切にしている場面を目撃すると、親切にする人が増える」という大学の研究結果もあります。太田中では、同じように頑張る人が増えてくると期待します。



9月8日に、仙北出張所の加藤勝則所長（太田中学校出身）が来校し、授業参観後、様々なご指導をいただきました。

仙北出張所長訪問

「疏水」

PTA合報「疏水」を拝見させていただきました。広報部員の皆様には大変ご難儀をおかけいたしました。コロナ禍で行事等が削減・縮小となり、編集には例年以上にご苦勞をされたことだと思います。

1年部長の安達さんの「この年頃でこの事態を迎えたことで、他人に対する思いやり、普通に生活をさせてもらっていることがいかに幸せであるかを感じ取ってもらえればと思います。」という文には感銘を受けました。他にも、子供の成長を見つめる温かいまなざしを随所に感じました。原稿を寄せてくださった皆様に感謝いたします。